

くらしと税金のかかわりについて考えよう















鶴岡市立朝陽第五小学校教諭 6学年 田澤 あきな

実施年月日：令和7年6月3日～6月20日 24名

1 実践計画・指導のねらい

学習の始めに、子ども達に税についてのイメージを聞くと、「税はいらないもの」「税金は高い」といったマイナスなイメージを多くもっていた。そのため、税は私達の生活を支える大切な仕組みであるということを知り、学習を通して身近な公共サービスが税によって支えられているということに気づかせることをねらいとして、学習を行った。「わたしたちの生活と政治」の単元の中で、「税金が自分たちの生活とどのように結びついているのか」、「集められた税金をもとに誰がどのようなことをしているのか」を関わらせた学習を計画し、税金の必要性や重要性について考えられるようにしていく。

2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、こどもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1 ・ 2	・税金とは何か、どんなことに使われているのかを調べる。	○ 税金は、私たちの生活とどのようにかかわっているのだろう。 ● この校舎や教科書にも税金が使われている。 ● 教育費として自分達のためにたくさんの税金が使われている。 □ 教科書「新しい社会」(東京書籍) □ 副教材「わたしたちのくらしと税金」
3	・税金のない世界について考え、生活を支える税金について理解を深める。 	○ 税金がなかったら、今の生活がどのように変わるのか考えよう。 ● みんなが利用できる施設が少なくなる。 ● 治療費が高くなり、救えなくなってしまう人が増える。 ● 健康で豊かな暮らしができなくなる。 □ 副教材「わたしたちのくらしと税金」 □ 動画「マリンとヤマト 不思議な日曜日」   
4	・「租税教室」を通して、税とは何か、何に使われているのかを考える。 ・新しい町の代表者になったつもりで、税金の使い道を考える。 (出前教室) 	○ 税金の種類を知り、使い道を考えてみよう。 ● 一日の生活の中で、様々な種類の税を払っている。 ● 税金の使い道を考えるとき、何を優先して使えばいいだろう。 □ 一億円のレプリカ  
5	・市民の願いを実現させる政治の働きを知る。 ・行政相談委員に相談する。 (出前教室) 	○ 生活の中で困っていることを行政相談委員に相談しよう。 ● 登下校の際に通る橋の下に落書きがあり、消してほしい。 ● 家の隣にある公園の木の葉がたくさん落ちてきて、掃除が大変。 □ パンフレット(全国行政相談委員連合協議会 発行)  
6	・これまで学んだことを生かして税の絵葉書を描き、まとめる。    	○ これまで税について学んできたことを生かして、絵葉書を作ろう。 ● 税金は無くしてはならないものだから、その大切さがわかるように作りたい。 ● 身近に使われている税金について、伝えるように作りたい。

【指導のポイント】《1・2時間目》
導入では、子ども達にとって身近な税金について考え、税金の必要性について実感できるような学習を行った。子ども達が思っていた以上に税金が使われているものが多く、新たな気づきや発見を大切にしながら学習を進めた。

【指導のポイント】《3時間目》
動画を視聴する前に、これまで学習したことをもとに、「税金がなくなったら生活がどのように変わってしまうのか」をグループごとに話し合い、税金の必要性について実感できるような学習活動を組んだ。

【指導のポイント】《4時間目》
山形税務署の方にお越しいただき、専門的な話を聞きながら、これまで学習してきたことを整理と発展的な学習を行った。新しい町の代表者になったつもりで、限られた金額をどのようなことに使うのかをグループごとに話し合った。様々な視点から税金の使い道を考え、自分事として意見を出し合うことができた。

【指導のポイント】《5時間目》
総務省行政相談委員の方にお越しいただき、集められた税金が具体的にどのようなことに使われているのかを知ることができた。子ども達は自分達の生活の中で困っていることや要望を伝え、その願いをもとに行政が動いてくれるということを知った。税金があることで、自分達の生活がより良くなるという実感を持ち、税についての知識を深めることができた。

【指導のポイント】《6時間目》
これまでの学習の資料や活動をふりかえり、税金の大切さが伝わるような絵葉書を意識させた。学習を積み重ねていくと、子ども達の中で税金の必要性について理解できるようになっていき、それぞれの考えを文字とイラストで表すことができた。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 子ども達は税金についてマイナスなイメージをもっていたが、学習が進むと税金の必要性を実感し、興味・関心を持ちながら学習を進めることができた。
- ◎ グループワークを多く取り入れ、子ども達の考えをつなぎながら学習を進めたことで、税金が自分達のくらしと密接にかかわっているという実感をもつことができた。
- ◎ 税務署の方や行政相談委員の方にお越しいただけたことで、専門的な話を聞くことができた。子ども達が自分達の要望や願いを直接伝えることができたことで、社会の一員として生活をより良くしたいという意識をもつことができた。
- ◆ 子ども達の関心を高めることができたため、今回の単元に限らず政治や税金についての学習を進め、将来へとつながる力を育成していきたい。